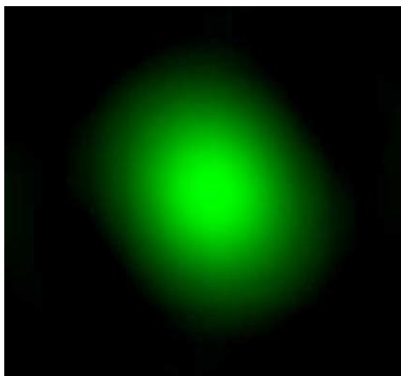


膨らんで見えるオリオン座の1等星ベテルギウス(北見工業大提供)



読んで
学べる
NIE

この星は、一生の最後に大爆発する「超新星爆発」が近いとされ、

冬の夜空に明るく輝くオリオン座の1等星「ベテルギウス」が、従来より2〜3倍大きく膨らんで見えたとする観測結果を、北見工業大などのチームが9日発表した。

星が3倍大きく オリオン座で 北見工大チーム

何らかの変化が起きたとみられる。ただ実際の星がこれほど急激に膨らむとは考えづらく、三浦則明北見工大教授は「大爆発の前兆とは言えないだろう」としている。ベテルギウスは、大爆発すると周囲でも見えるほど明るくなると予想されるが、地球への影響は分かっていない。

チームは昨年11月、西はりま天文台(兵庫県)の望遠鏡で、光をさまざまな色に分けて観測。その結果、星や周囲のちりなどが見える緑の光の観測では1970年代の観測時より星の大きさが3倍に広がり、形はいびつな楕円形だった。同様に赤の光でも過去の観測と比べて広がって見えた。